

議 事 録

会 議 名	令和3年度 第2回 教育課程編成委員会
日 時	令和4年2月18日(金) 15:00～17:00
場 所	中央工学校OSAKA 1号館 31・32教室
参 加 者	[委 員] (敬称略) 小松原 学、金沢 ちかこ、小坂田 昌広、 田中 由之、岩尾 美穂、 [関係職員] 中村 聖吾、平上 秀明、原 充介、戸澤 まり子、 中島 征治、西村 宜晃、吉田 知恵(司会)、中本 小百合、 唐木 恵美(記録)
内 容	1. 令和3年度 第2回 教育課程編成委員会 司会の吉田 知恵職員が開会を宣言し、第2回教育課程編成委員会が開会した。 (ア) 学校長挨拶 中村 聖吾校長から本校における現状について報告があった。 ・新型コロナウイルス感染症について、本校においても年末から年始にかけて急激に感染者が増えた。しかし基本的な感染対策を徹底しており、一定のルールを設けて適切な対応を行うことでクラスターは発生していない。現在も対面授業を続けている。 ・転科システムにより、今年度は住宅デザイン科1名がインテリアデザイン科へ、インテリアデザイン科1名が建築学科へ、計2名が転科している。 ・建築施工実習(10/4～7)について 昨年度に引き続き中止とし、代替研修を学内で実施。 内容:建設業界の概要、鉄筋や足場について、測量機器の扱い方、現場監督の管理項目や工程表の作り方など。 富士教育訓練センター様にもご協力いただいた。

	<ul style="list-style-type: none"> <p>・秋のイベント（10/28～11/1）について 内容：昼間部 1 年生合同発表会、生きた建築フェスティバル大阪へのオンライン参加、六甲ミーツアート芸術散歩 2021 への参加</p> <p>・教育懇談会（11/12～18）について 昨年度より若干増えて、17 組の保護者の参加があった。</p> <p>・国内建築研修（11/11）について（研究科） 昨年度に引き続き、代替研修を実施。 内容：和歌山県友ヶ島への日帰り研修、各自で見学地を定めた自由見学及びレポート作成。</p> <p>・スポーツ大会（11/19）について 会場を万博記念公園に変更した。 内容：「万博記念公園の魅力新発見」をテーマに学生が発見した万博公園の魅力を学校の公式インスタグラムで発信し、「いいね」の数で順位を競うイベント。</p> <p>・後期試験（1/25～28）、後期追試験（2/7～10）が終了した。</p> <p>・令和 3 年度卒業成果・制作発表会について 2 月 15 日：建築系 3 学科 1 年生 6 名、研究科 8 名 2 月 16 日：建築系 3 学科 2 年生 20 名 今年度も新型コロナウイルス感染症対策として、在校生及び保護者、高校関係者、企業関係者へは Zoom によるライブ配信を行った。</p> <p>・創立 40 周年について 堀口理事長・校友会会長をお迎えして、記念式典（12/28）を実施した。（職員、パート職員のみ参加） 40 周年記念誌と記念グッズ（エコバック）を配布。</p> <p>（イ）配布資料の確認 司会の吉田 知恵職員から、本日の配布物の確認を行った。</p> <p>（1）戸澤 まり子学科長より、令和 3 年度の建築系教育について報告があった。</p>
--	---

・軽井沢研修について

今年度も学内で代替研修を実施した。

内容：校舎を使ったワークショップ、IT活用についての講義、民家集落の見学会など。

・秋のイベントについて

学生のレポートのご紹介。2年生においては2回目だが「2回参加して理解が深まった」などの意見があった。

・スポーツ大会について

SNSを活用したイベントを実施した。

新しいやり方だったが学生は積極的だった。

インスタグラムのアカウントの管理は広報と連携して実施した為、学生の個人情報の保護に関しても配慮が出来た。

・建築士試験の模擬テストについて（対象：在校生）

二級建築士、一級建築士向け（8名参加）模試を実施。

ほとんどの学生が5割以上正解だった。

既に早い段階で勉強をスタートしている学生が多い。

・国内建築研修について（研究科）

当初、新型コロナウイルス感染拡大が下火になっていた時期（11月）だったので、直島に宿泊を計画していたが、希望者が14名しかおらず、日帰りで和歌山県友ヶ島に決定。

レポートの発表会は1月に実施した。全員合格している。

・卒業成果・制作発表会について

2日目の卒業制作発表会について、各科上位25%（建築学科8名、住宅デザイン科8名、インテリアデザイン科5名）の予定だったが、1名体調不良で当日欠席のため合計20名が発表。

審査員は8名。非常勤講師へ依頼した。評価理由のコメントは学生ひとりひとりにフィードバックをする予定。

・授業における新型コロナウイルス感染対策について

全授業、対面を基本として実施。感染リスク回避希望の学生のため

に Zoom 配信も同時に実施。

(ウ) 令和3年度卒業成果・制作発表会発表作品の見学
平上 秀明教務部長より建築学科の作品説明、西村 宜晃職員より住宅デザイン科の作品説明、戸澤 まり子学科長よりインテリアデザイン科の作品説明を行った。

(エ) 意見交換
本日の委員会での内容について、意見交換を行った。

【小松原 学委員】

・卒業制作発表会作品の、特に BIM を使い、動画で表現した作品について、他校でもこのような作品はみたことがない。図面だけでは想像できない部分もあるので、素晴らしい。

・コロナ禍の中で、独自で動いていかなければ生き残れない世の中になってきている。先生方、ひとりひとりの能力が問われている。今までの常識が通らなくなってきている。その状況でどのように対応するのか。

・「変える勇気」と「変えない勇気」
教育は変えてはいけない理念に沿う必要があるが、現状に即した変化が求められる。中央工学校 OSAKA は、そうしたことに対応できていると感じる。

【金沢 ちかこ委員】

・プレゼンのレベルが上がったと感じる。
今の人は目から入ってくる情報が大きい。プレゼンが素晴らしく、今の時代に合っている。建築学科 施工管理コースのプレゼンも見ていてわくわくした。学生の作品に良い影響を受けた。

【小坂田 昌広委員】

・コロナとの共存について、保健所の業務がひっ迫していることもあり、様々なことが個人の判断に委ねられているので、そういった意味で私達も追従していかなければならない。

・卒業成果制作発表作品について

プレゼン力の高さを感じた。建築学科の施工管理コース、建築設備コースが上位に来ている理由が実際に作品を見て理解できた。人の心に訴えるようなものを発信できるかが重要になってきている。

【田中 由之委員】

・卒業制作発表作品について

例年に比べて施工管理コースなどのプレゼン力の高さに驚いた。工事を視覚的にみる事が出来ることは、入学前の学生に対しても効果的なのではないかと感じた。作品に取り組んだ学生も、知識が頭に染み付いたのではないかと感じた。

・インテリアデザイン科の卒業制作資料について、学生に工程を組ませるところがとても良いと感じた。学生が取り組みやすいよう工夫が来ている。

【岩尾 美穂委員】

・卒業制作発表作品について

施工管理コースの作品が一番心惹かれた。技術のすごさを感じた。3学科共通して、与えられたものではない課題に取り組むことは就職先でも役立つ経験。ひとりひとり思いがこもった作品に取り組むことは就職後も生きてくる。

【平上 秀明教務部長】

・卒業時の学生の作品について、新入社員としてスタートできるかどうかの基準で指導しているが、学生の中に最低限指導しておいて欲しい点などあればお聞かせいただきたい。

【小坂田 昌広委員】

分からないことがあれば自ら情報を集めようとしているのか、教えてもらっていないから出来ないではだめ。その姿勢が大切。就職してすぐ即戦力になるわけではなくても、何か月か働くことで前を向いて働けるように、学生の中に基本的な知識や技術、関連性を理解していただくことが重要なのではないかと感じた。

【平上 秀明教務部長】

どのようにすれば、より多くの学生が自主的に行動するような雰囲気になるのか良いアイデアがあれば伺いたい。

【西村 宜晃職員】

・企業で働く事で何かのきっかけでやる気が出ることもあるかと思う。どのようなタイミングでそのような状況になるのか伺いたい。

【小坂田 昌広委員】

・懲りずに指導し続けてくれた先輩がいた事が、やる気のきっかけになった事例がある。人は褒められると嬉しいので、褒める事も効果的なのではないか。

【田中 由之委員】

・学校では先生からの指導でどうしても受け身になる。ある程度、自分の責任で物件を担当できるようになる時に初めて自主的に行動したいと感じるようになるのではないか。

【小松原 学委員】

・最初から即戦力になる学生はほとんどいない。企業に育ててもらえばいい。学校は期間がどうしても短いので基礎的な能力を養う場所だと思う。

【戸澤 まり子学科長】

・オンラインでのプレゼンでは素晴らしいが、対面でのプレゼンは元気がなく苦手な学生がいる。コロナ禍で対面でのプレゼンが苦手な学生が増えてきているように感じる。就職活動で不利にならないか。

【小坂田 昌広委員】

・企業がどのような学生を求めているかによるのではないか。

【小松原 学委員】

・それも個性だが、率直に本人に伝えるのが良いのではないか。

2. 閉会の辞

中村 聖吾校長が閉会の宣言を行い、第 2 回教育課程編成委員会
が閉会した。

【配付資料一覧】

- ・令和 3 年度 第 2 回教育課程編成委員会 次第
- ・令和 3 年度 建築系の教育について
- ・令和 3 年度 卒業成果・制作発表会 最終審査集計表

以上